

歯周病学

責任者・コーディネーター	歯科保存学講座（歯周療法学分野）佐々木 大輔 教授			
担当講座（分野）	歯科保存学講座（歯周療法学分野）			
対象学年	3	区分・時間数 (1コマ2時間換算)	講義/演習	実習
期間	通期		前期 14.0時間	—
			後期 38.0時間	32.0時間

学修方針（講義概要等）

歯周病学では、まず歯周病発生機構と病態、その改善に必要な基本事項等について理解する。その上で、臨床で実際に展開されている歯周治療の基本的な流れ、歯周基本治療の内容と再評価の意義、必要な歯周外科の種類と特徴、口腔機能回復に必要な治療、メンテナンス・SPTといった歯周定期管理について理解する。また歯周病と全身との関わり合いについても理解を深める。履修内容に関するフィードバックは掲示・ウェブクラス等で周知する。

教育成果（アウトカム）

講義：歯周病学の背景となる基礎知識を再確認するとともに、実際の歯周治療の流れをもとに各歯周治療を段階的に知ることで、歯科医師として必要な歯周病学の知識、実際に臨床で展開されている歯周病患者への対応、診察と診断、具体的治療内容等を理解することができる。

実習：態度、技能を修得する必要がある事項（診察方法と検査、画像診断、口腔清掃指導、咬合関係と咬合調整、SRP、歯周外科手技）等について、理解しやすく工夫された各実習体験により、態度、技能とともにその周辺知識が身につく。

（関連するディプロマポリシー：1、2、3、4、5、6、8、9）

到達目標（SBOs）

- ・歯周病の基礎知識を概説できる
- ・歯周病のリスクファクターを列挙出来る
- ・ペリオドンタルメディシンを概説できる
- ・歯周病の診察と検査・診断と治療を概説できる
- ・歯周病の治療法を概説できる
- ・ライフステージを通じた歯周治療を概説できる
- ・歯周病の疫学について概説できる
- ・歯周病の予防管理について概説できる
- ・特殊な歯周病について概説できる

事前事後学修の具体的内容及び時間

【事前学修】

シラバスに記載されている次回の授業内容を確認し、教科書等を用いて事前学修を行うこと。各授業に対する事前学修の時間は平均30分を要する。本内容は全授業に対して該当するものとする。

【事後学修】

講義理解が不十分であった箇所については、講義資料や教科書等を用いて事後学修を行うこと。各授業に対する事後学修の時間は平均45分を要する。本内容は全授業に対して該当するものとする。

（事前学修：最低30分を要する 事後学修：最低45分を要する）

講義/演習/実習日程表

区分	月日 (曜)	時限	担当教員 (講座 分野)	ユニット名 内容	到達目標 [コア・カリキュラム] 事前事後学修
講義	6/9 (月)	1	佐々木大輔教授 (歯科保存学講座 歯 周療法学分野)	歯周病学概要説明 歯周病学、歯周治療学 で修得すべき事を理解 する。	1. 歯周治療の対象となる歯周組織の 病態、診査・診断・治療方法を総合 的に説明できる。 [D-3-2全般、D-5-2-3全般] 事前学修：ザ・ペリオドントロジー 4版1-4p、臨床歯周病学3版1編2-31p を読んでまとめておく。 事後学修：講義理解が不十分であつ た箇所については、講義資料や教科 書等を用いて知識の補充を行う。
講義	6/16 (月)	1	八重柏隆教授 (口腔医学講座 歯科 医学教育学分野)	歯周病の基礎知識、リ スクファクター 歯周病の基礎知識とリ スクファクターを理解 できる。	1. 歯周病の基礎知識を説明できる。 2. 歯周病のリスクファクターを説明 できる。 3. コア歯学で修得必要な項目を説明 できる。 [D-3-2全般、D-5-2-3全般] 事前学修：ザ・ペリオドントロジー 4版第1,2章1-53p、臨床歯周病学3版 1編23-62pを読んでまとめておく。 事後学修：講義理解が不十分であつ た箇所については、講義資料や教科 書等を用いて知識の補充を行う。
講義	6/23 (月)	2	村井治講師 (歯科保存学講座 歯 周療法学分野)	歯周病の診査・診断 歯周病の診査・診断を 理解できる。	1. 歯周病の診査・診断を説明でき る。 2. 歯周病診査に必要な器具を列挙で きる。 3. 歯周病の診断の臨床的意義を説明 できる。 [D-3-2全般、D-5-2-3全般] 事前学修：ザ・ペリオドントロジー 4版第4章76-99p、臨床歯周病学3版 63-85、96-123pを読んでまとめてお く。 事後学修：講義理解が不十分であつ た箇所については、講義資料や教科 書等を用いて知識の補充を行う。
講義	6/30 (月)	2	佐々木大輔教授 (歯科保存学講座 歯 周療法学分野)	歯周基本治療 (概要) 診査・診断、治療計 画、歯周基本治療を理 解できる。	1. 歯周疾患の診査・診断、治療方針 および治療計画の流れを説明でき る。 2. 説明と同意の重要性を説明でき る。 3. 治療計画立案の必要項目を列挙で きる。 [D-3-2全般、D-5-2-3全般] 事前学修：ザ・ペリオドントロジー 4版第5章100-128p、臨床歯周病学3 版78-85、96-114p、124-148pを読 んでまとめておく。 事後学修：講義理解が不十分であつ た箇所については、講義資料や教科 書等を用いて知識の補充を行う。

講義	7/7 (月)	1	村井治講師 (歯科保存学講座 歯 周療法学分野)	歯周基本治療 応急処置、モチベー ション、プラークコン トロール他について理 解できる。	1. 歯周疾患の急性症状の診断・応急 処置について説明できる。 2. 歯周治療に必要なモチベーショ ンについて説明できる。 3. 歯周治療に必要なブラッシング法 の種類と特徴を列挙して説明でき る。 [D-3-2全般、D-5-2-3全般] 事前学修：ザ・ペリオドントロジー 4版第5章108-120p、臨床歯周病学3 版124-164pを読んでまとめておく。 事後学修：講義理解が不十分であつ た箇所については、講義資料や教科 書等を用いて知識の補充を行う。
講義	7/14 (月)	2	鈴木啓太助教 (歯科保存学講座 歯 周療法学分野)	歯周基本治療 (咬合・咬合調整・暫 間固定他) 外傷性咬合と咬合調 整・暫間固定を理解で きる。	1. 咬合の基本事項について説明でき る。 2. 外傷性咬合と咬合性外傷を説明 できる。 3. 咬合性外傷の症状を説明でき る。 4. ブラキシズムを説明できる。 5. 咬合調整を説明できる。 6. 暫間固定を説明できる。 [D-3-2全般、D-5-2-3全般] 事前学修：ザ・ペリオドントロジー 4版第5章128-132p、臨床歯周病学3 版78-85、165-180pを読んでまとめ ておく。 事後学修：講義理解が不十分であつ た箇所については、講義資料や教科 書等を用いて知識の補充を行う。
講義	8/25 (月)	2	石河太知教授 (微生物学講座 分子 微生物学分野)	歯周病の細菌学 歯周疾患と細菌（感染 と免疫）について理解 できる。	1. 口腔細菌、歯垢および歯石を説明 できる。 2. 歯周疾患の症状を細胞レベル、分 子生物学的レベルで説明できる。 3. 歯周病における感染と免疫を説明 できる。 [D-3-2-3, 4] 事前学修：ザ・ペリオドントロジー 4版第1章14-24p、臨床歯周病学3版 32-49pを読んでまとめておく。 事後学修：講義理解が不十分であつ た箇所については、講義資料や教科 書等を用いて知識の補充を行う。
講義	9/22 (月)	3	村井治講師 (歯科保存学講座 歯 周療法学分野)	歯周基本治療 SRP、スケーラーおよび PMTCを理解できる。	1. 歯周治療に必要なSRPを説明でき る。 2. 治療に用いるスケーラーを説明で きる。 3. PMTCを説明できる。 [D-3-2全般、D-5-2-3全般] 事前学修：ザ・ペリオドントロジー 4版第5章120-128p、臨床歯周病学3 版149-164pを読んで到達目標につい てまとめておく。 事後学修：講義理解が不十分であつ た箇所については、講義資料や教科 書等を用いて知識の補充を行う。

講義	9/22 (月)	4	村井治講師 (歯科保存学講座 歯 周療法学分野)	診査と説明・指導 診査結果と病状説明、 口腔清掃指導を理解で きる。	1. 診査結果を説明できる。 2. 病状説明のポイントを説明でき る。 3. プラークコントロール方法を説明 できる。 [D-3-2全般、D-5-2-3全般] 事前学修：歯周基礎実習帳「歯周病 の病状説明」該当箇所、ザ・ペリオ ドントロジー4版第5章110-120p、臨 床歯周病学3版96-115, 138-148pを 読んでまとめておく。 事後学修：講義理解が不十分であつ た箇所については、講義資料や教科 書等を用いて知識の補充を行う。
実習	9/29 (月)	3 4	佐々木大輔教授 村井 治講師 鈴木啓太助教 (歯科保存学講座 歯 周療法学分野)	歯周組織の診察と検 査・口腔清掃指導 診察と検査、口腔清掃 指導について理解でき る。	1. 検査結果を用いて歯周病患者に対 する歯周病の病状を適切に説明でき る。 2. ブラッシング法の種類と特徴を列 挙し説明できる。 3. 歯周組織の診査項目および必要な 診査器具を列挙し、説明できる。 実習内容（事前レポート）に関して 担当教員とディスカッションする。 [E-5-3-3全般] 事前学修：歯周基礎実習帳「歯周病 の病状説明」該当箇所、ザ・ペリオ ドントロジー4版第4章76-89p、第5 章112-119p、臨床歯周病学3版96- 107p, 138-148pを読んでまとめてお く。 事後学修：実習理解が不十分であつ た箇所については、歯周基礎実習 書、講義資料や教科書等を用いて知 識および模型を用いて技能の補充を 行う。
実習	10/6 (月)	3 4	佐々木大輔教授 村井 治講師 鈴木啓太助教 (歯科保存学講座 歯 周療法学分野)	SRPとPMTC(模型実習) SRPとPMTCを適切に実施 できる。	1. SRPに用いる器具を選択できる。 2. 手用によるSRP(ポジショニング含 む)ができる。 3. 安全・感染予防の配慮ができる。 4. エアースケーラーを用いたスケー リングができる。 5. PMTCを模型で実施できる。 実習内容（事前レポート）に関して 担当教員とディスカッションする。 [E-5-3-3全般] 事前学修：歯周基礎実習帳「歯周病 の病状説明」該当箇所、ザ・ペリオ ドントロジー4版第5章120-127p、 194-199p、臨床歯周病学3版149- 164p、309-317pを読んでまとめてお く。 事後学修：実習理解が不十分であつ た箇所については、歯周基礎実習 書、講義資料や教科書等を用いて知 識および模型を用いて技能の補充を 行う。

講義	10/20 (月)	3	鈴木啓太助教 (歯科保存学講座 歯 周療法学分野)	歯周病の分類と疫学 歯周病の分類、疫学に ついて理解できる。	1. 歯周病の疫学について説明でき る。 2. 歯周病に影響する要因を説明でき る。 3. 歯周疾患の分類について説明でき る。 [C-6-1-3、D-3-2全般、D-5-2-3全 般] 事前学修：ザ・ペリオドントロジー 4版第7章の237-244p、臨床歯周病学 3版86-95pを読んで到達目標につい てまとめておく。 事後学修：講義理解が不十分であつ た箇所については、講義資料や教科 書等を用いて知識の補充を行う。
講義	10/20 (月)	4	鈴木啓太助教 (歯科保存学講座 歯 周療法学分野)	ペリオドンタルメディ シン ペリオドンタルメディ シンおよび高齢者(有病 者)の歯周病・注意点を 理解できる。	1. ペリオドンタルメディシン、歯周 病と関係する疾患(糖尿病および循 環器疾患等)との関連性を説明でき る。 2. 高齢者(有病者)の歯周病の特徴と 治療時の注意点を説明できる。 3. 全身疾患を有する者の歯周病治療 について(症例で)説明できる。 [D-2-4-1、D-3-2全般、D-5-2-3全 般] 事前学修：ザ・ペリオドントロジー 4版第3章の54-75p、臨床歯周病学3 版50-62、356-364pを読んで到達目 標についてまとめておく。 事後学修：講義理解が不十分であつ た箇所については、講義資料や教科 書等を用いて知識の補充を行う。
講義	10/27 (月)	3	佐々木大輔教授 (歯科保存学講座 歯 周療法学分野)	特殊な歯周病 特殊な歯周病を理解す る。	1. 特殊な歯周病(喫煙関連性歯周 炎、壊死性歯周疾患、薬物性歯肉増 殖症、剥離性歯肉炎、侵襲性歯周炎 等)を説明できる。 2. 遺伝に関わる歯周病(歯肉線維 腫症、Down症候群、Papillon-Lefè vre症候群、低ホスファターゼ症 等)を説明できる。 [D-3-2全般、D-5-2-3全般] 事前学修：ザ・ペリオドントロジー 4版第9章254-276p、臨床歯周病学3 版 365-376pを読んでまとめてお く。 事後学修：講義理解が不十分であつ た箇所については、講義資料や教科 書等を用いて知識の補充を行う。

講義	10/27 (月)	4	佐々木大輔教授 (歯科保存学講座 歯 周療法学分野)	薬物療法、レーザー治療 薬物療法、レーザー治療を理解する。	1. 歯周領域の薬物療法(局所薬物 配送システム他)を説明できる。 2. 歯周領域のレーザー治療を説明 できる。 [D-3-2全般、D-5-2-3全般] 事前学修: ザ・ペリオドントロジー 4版第5章200-207p、臨床歯周病学3 版318-327p, 336-344pを読んでま とめておく。 事後学修: 講義理解が不十分であ った箇所については、講義資料や教科 書等を用いて知識の補充を行う。
実習	10/29 (水)	1	佐々木大輔教授 村井 治講師 鈴木啓太助教 (歯科保存学講座 歯 周療法学分野)	歯周病患者のエックス 線読影 (実習) 歯周病患者のエックス 線像を読影できる。	1. 歯周病患者のエックス線像の特 徴・解決を要する問題点を列挙し て読影できる。 2. 咬合性外傷と根分岐部病変のエ ックス線像について説明できる。 3. 歯周病による骨吸収ラインを示 して説明できる。 [E-2-5-4、E-5-3-3全般] 実習内容(事前レポート)に関し て担当教員とディスカッションす る。 事前学修: 歯周基礎実習帳「歯周 病の病状説明」該当箇所、ザ・ペ リオドントロジー4版第4章76-89p、臨床 歯周病学3版96-107pを読んでま とめておく。 事後学修: 実習理解が不十分であ った箇所については、歯周基礎実 習書、講義資料や教科書等を用 いて知識および模型を用いて技能 の補充を行う。
実習	10/29 (水)	2	佐々木大輔教授 村井 治講師 鈴木啓太助教 (歯科保存学講座 歯 周療法学分野)	咬合調整 (実習) 模型で咬合調整が できる。	1. 咬合を診査して咬合干渉部、 早期接触部を特定できる。 2. 咬合調整の方法を説明できる。 3. 適切な削合により咬合調整 できる。 [E-5-3-3全般] 実習内容(事前レポート)に関し て担当教員とディスカッションす る。 事前学修: 歯周基礎実習帳「歯 周病の病状説明」該当箇所、ザ・ ペリオドントロジー4版第5章130- 131p、臨床歯周病学3版168-172p を読んでま とめておく。 事後学修: 実習理解が不十分であ った箇所については、歯周基礎実 習書、講義資料や教科書等を用 いて知識および模型を用いて技能 の補充を行う。

実習	10/29 (水)	3 4	佐々木大輔教授 村井 治講師 鈴木啓太助教 (歯科保存学講座 歯 周療法学分野)	咬合調整、暫間固定 (実習) 暫間固定ができる。	1. 適切な削合により咬合調整できる。 2. A-splintができる。 3. ダイレクトボンディング固定できる。 [E-5-3-3全般] 実習内容 (事前レポート) に関して担当教員とディスカッションする。 事前学修：歯周基礎実習帳「歯周病の病状説明」該当箇所、ザ・ペリオドントロジー4版第5章128-129p、臨床歯周病学3版168-172pを読んでまとめておく。 事後学修：実習理解が不十分であった箇所については、歯周基礎実習書、講義資料や教科書等を用いて知識および模型を用いて技能の補充を行う。
講義	11/10 (月)	1	佐々木大輔教授 (歯科保存学講座 歯 周療法学分野)	歯周外科1 (基本) 歯周外科の基本を理解できる。	1. 各歯周外科の適応 (特に骨縁下ポケット症例)、歯周外科の基本、歯周治療後の組織の治癒機転と予後を説明できる。 2. フラップ手術の流れ・術式を説明できる。 3. 歯周外科用器具と材料を説明できる。 [D-3-2全般、D-5-2-3全般] 事前学修：ザ・ペリオドントロジー4版第5章142-169p、臨床歯周病学3版181-206pを読んでまとめておく。 事後学修：講義理解が不十分であった箇所については、講義資料や教科書等を用いて知識の補充を行う。
講義	11/10 (月)	2	佐々木大輔教授 (歯科保存学講座 歯 周療法学分野)	歯周外科2 (再生療法他) 歯周組織再生療法を理解できる。	1. 歯周組織再生療法の種類と適応症を説明できる。 2. 歯周組織再生療法の術式を説明できる。 3. 歯周組織再生療法に用いる材料を説明できる。 [D-3-2全般、D-5-2-3全般] 事前学修：ザ・ペリオドントロジー4版第5章142-169p、臨床歯周病学3版207-244pを読んでまとめておく。 事後学修：講義理解が不十分であった箇所については、講義資料や教科書等を用いて知識の補充を行う。

実習	11/10 (月)	3 4	佐々木大輔教授 村井 治講師 鈴木啓太助教 (歯科保存学講座 歯 周療法学分野)	歯周外科基本手技実習 (切開、縫合、模型使 用) 歯周外科の基本作業を 実習できる。	1. 歯周外科の基本作業（各種切開方法他）を模型実習できる。 2. 縫合の種類を列挙し模型で縫合できる。 3. 模型で歯肉弁を作成しメス、持針器を扱うことができる。 [E-5-3-3全般] 実習内容（事前レポート）に関して担当教員とディスカッションする。 事前学修：歯周基礎実習帳「歯周病の病状説明」該当箇所、ザ・ペリオドントロジー4版第5章142-145p、臨床歯周病学3版181-187pを読んでまとめておく。 事後学修：実習理解が不十分であった箇所については、歯周基礎実習書、講義資料や教科書等を用いて知識および模型を用いて技能の補充を行う。
講義	11/17 (月)	1	大川義人非常勤講師 (歯科保存学講座 歯 周療法学分野)	根分岐部病変と歯内一 歯周病変 根分岐部病変と歯内一 歯周病変を理解できる。	1. 根分岐部病変の分類（Glickman・Lindhe）を説明できる。 2. 歯根の保存・除去療法について説明できる。 3. 歯内-歯周疾患の成因と治療方法を説明できる。 [D-3-2全般、D-5-2-3全般] 事前学修：ザ・ペリオドントロジー4版第5章132-134p、177-181p、臨床歯周病学3版245-256、328-335pを読んでまとめておく。 事後学修：講義理解が不十分であった箇所については、講義資料や教科書等を用いて知識の補充を行う。
講義	11/17 (月)	2	大川義人非常勤講師 (歯科保存学講座 歯 周療法学分野)	高齢者の歯周病、予防 管理、特発病変への対 応 高齢者の歯周病、予防 管理、特発病変への対 応を理解できる。	1. 高齢者の歯周病を説明できる。 2. 歯周病の予防管理を説明できる。 3. 特発病変への対応を説明できる。 [D-3-2全般、D-5-2-3全般] 事前学修：ザ・ペリオドントロジー4版第3, 5, 6, 8章の該当箇所、臨床歯周病学3版, 309-317, 356-364pを読んでまとめておく。 事後学修：講義理解が不十分であった箇所については、講義資料や教科書等を用いて知識の補充を行う。
講義	11/17 (月)	3	村井 治講師 (歯科保存学講座 歯 周療法学分野)	抜歯の基準、再評価、 メンテナンス、SPT 抜歯の基準、再評価、 メンテナンス、SPTを 理解する。	1. 抜歯の基準を説明できる。 2. 再評価の意義を説明できる。 3. 定期管理（メンテナンスとSPT）を説明できる。 [D-3-2全般、D-5-2-3全般] 事前学修：ザ・ペリオドントロジー4版第5章135-136p, 194-199p、臨床歯周病学3版96-115, 309-317pを読んでまとめておく。 事後学修：講義理解が不十分であった箇所については、講義資料や教科書等を用いて知識の補充を行う。

講義	11/17 (月)	4	村井 治講師 (歯科保存学講座 歯 周療法学分野)	ライフステージを通じ た歯周治療と歯周病の 予防管理 ライフステージを通じ た歯周治療と歯周病の 予防管理を理解する。	1. 小児の歯周病学を説明できる。 2. 思春期の歯周病を説明できる。 3. 女性の歯周病を説明できる。 4. 高齢期、周術期における歯周病 への対応を説明できる。 5. ライフステージと歯周病を説明 できる。 6. 歯科関係者と多職種との連携を 説明できる。 [D-3-2全般、D-5-2-3全般] 事前学修：ザ・ペリオドントロジー 4版第7,8章222-253p、臨床歯周病学 3版345-364pを読んでまとめてお く。 事後学修：講義理解が不十分であつ た箇所については、講義資料や教科 書等を用いて知識の補充を行う。
講義	12/1 (月)	1	八重柏隆教授 (口腔医学講座 歯科 医学教育学分野)	歯周外科3 (基本) 歯周ポケット搔爬術、 新付着術、歯肉切除術 を理解できる。	1. 骨縁上ポケットに適応する歯周 外科手術を説明できる。 2. フラップ手術との違いを説明で きる。 3. 組織付着療法、切除療法につい て説明できる。 [D-3-2全般、D-5-2-3全般] 事前学修：ザ・ペリオドントロジー 4版第5章142-169p、臨床歯周病学3 版181-206pを読んでまとめておく。 事後学修：講義理解が不十分であつ た箇所については、講義資料や教科 書等を用いて知識の補充を行う。
講義	12/1 (月)	2	八重柏隆教授 (口腔医学講座 歯科 医学教育学分野)	歯周外科4 (歯周形成外科他) 歯周形成外科手術を理 解できる。	1. 歯周形成外科の種類と適応症を 説明できる。 2. 歯周形成外科の流れ・術式を説 明できる。 3. 歯周形成外科に用いる器具を説 明できる。 [D-3-2全般、D-5-2-3全般] 事前学修：ザ・ペリオドントロジー 4版第5章170-176p、臨床歯周病学3 版257-266pを読んでまとめておく。 事後学修：講義理解が不十分であつ た箇所については、講義資料や教科 書等を用いて知識の補充を行う。
講義	12/1 (月)	3	八重柏隆教授 (口腔医学講座 歯科 医学教育学分野) 佐藤和朗教授 (口腔保健育成学講 座 歯科矯正学分野)	口腔機能回復治療(歯 周・矯正他) 口腔機能回復治療を理 解できる。	1. 口腔機能回復治療について説明で きる。 2. 歯周-矯正治療について説明でき る。 3. 歯周疾患患者の歯周補綴(永久固 定)・インプラント治療について説 明できる。 [D-3-2全般、D-5-2-3全般] 事前学修：ザ・ペリオドントロジー 4版第5章182-193p、臨床歯周病学3 版267-308pを読んでまとめておく。 事後学修：講義理解が不十分であつ た箇所については、講義資料や教科 書等を用いて知識の補充を行う。

講義	12/1 (月)	4	佐々木大輔教授 (歯科保存学講座 歯 周療法学分野)	歯周外科の要点および 全身疾患を有する患者 の治療 (症例報告) 歯周外科の要点・歯周 病治療症例を理解す る。	1. 歯周外科の要点を説明できる。 2. 糖尿病等の全身疾患を有する患者 に歯周治療を実施することにより実 際に病状が改善することを症例から 理解できる。 [D-3-2全般、D-5-2-3全般] 事前学修：ザ・ペリオドントロジー 4版第3章54-75p, 第5章142-181p、 臨床歯周病学3版50-62, 181-266, 345-364pを読んで到達目標について まとめておく。 事後学修：講義理解が不十分であつ た箇所については、講義資料や教科 書等を用いて知識の補充を行う。
実習	12/3 (水)	1 2 3 4	佐々木大輔教授 村井 治講師 鈴木啓太助教 (歯科保存学講座 歯 周療法学分野)	歯周外科の実際 (歯周外科実習：豚顎 使用) (実習) 豚顎を使用して歯周外 科治療の基本を実習で きる。	1. 各種切開法を豚顎で実践できる。 2. 歯肉の全層弁での剥離・回転を豚 顎で実践できる。 3. 各種縫合法を豚顎で実践できる。 4. 歯根明示下でのSRPを豚顎で実践 できる。 5. フラップ手術を豚顎で実践でき る。 6. 骨縁上組織付着を説明できる。 7. SRPを豚顎で実践できる。 8. 各種歯周組織検査 (ウォーキング プローブ、ボーンサウンディング) を豚顎で実践できる。 [E-5-3-3全般] 実習内容 (事前レポート) に関して 担当教員とディスカッションする。 事前学修：歯周基礎実習帳「歯周病 の病状説明」該当箇所、ザ・ペリオ ドントロジー4版第5章148-151p、臨 床歯周病学3版187-190pを読んでま とめておく。 事後学修：実習理解が不十分であつ た箇所については、歯周基礎実習 書、講義資料や教科書等を用いて知 識および模型を用いて技能の補充を 行う。
演習	12/8 (月)	3	佐々木大輔教授 (歯科保存学講座 歯 周療法学分野)	筆記試験 (中間試験)	これまでに学んだ要点を規定時間内 に記述できる。
演習	12/8 (月)	4	八重柏隆教授 (口腔医学講座 歯科 医学教育学分野)	歯周演習試験 (コア歯学関連) 歯周領域コア歯学関連 項目について理解す る。	コア歯学関連の歯周領域重要事項 をDESS演習試験で再確認できる。 [D-3-2全般、D-5-2-3全般] 事前学修：関連するザ・ペリオド ントロジー4版全章、臨床歯周病学3 版全編を読んでまとめておく。 インターネットに接続可能なPC, タ ブレット等を持参すること。 事後学修：演習試験で理解が不十分 であった箇所については、講義資料 や教科書等を用いて知識の補充を行 う。

講義	12/15 (月)	3	佐々木大輔教授 村井 治講師 (歯科保存学講座 歯 周療法学分野) 八重柏隆教授 (口腔医学講座 歯科 医学教育学分野)	口頭試問 歯周病学の要点を自分 なりの表現で理解す る。	1. 歯周領域の重要項目・内容について規定時間内に口頭で説明できる。 [D-3-2全般、D-5-2-3全般] 事前学修：講義内容を復習して臨むこと。口頭試問リスト内容について、ザ・ペリオドントロジー4版全章、臨床歯周病学3版全編、歯周病専門用語集を読んでまとめ、口頭で説明できるようにして臨むこと。 事後学修：口頭試問で理解が不十分であった箇所については、講義資料や教科書等を用いて知識の補充を行う。
実習	12/22 (月)	3 4	佐々木大輔教授 村井 治講師 鈴木啓太助教 (歯科保存学講座 歯 周療法学分野)	実習試験 (SRP)	1. スケーリング・ルートプレーニングに用いる器具を選択できる。 2. スケーリング・ルートプレーニングを適切に実施できる (適切なポジショニングを含む)。 3. 医療安全・感染予防に配慮したSRPが実施できる。 [E-5-3-3全般] 事前学修：歯周基礎実習帳「歯周病の病状説明」該当箇所、ザ・ペリオドントロジー4版第5章120-127p、臨床歯周病学3版149-164pを読んでまとめる。 事後学修：実習試験の理解が不十分であった箇所については、歯周基礎実習書、講義資料や教科書等を用いて知識および模型を用いて技能の補充を行う。

教科書・参考書・推薦図書

区分	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	臨床歯周病学 第3版	村上伸也ほか編	医歯薬出版	2020年
教	ザ・ペリオドントロジー 第4版	沼部幸博ほか編	永末書店	2023年
参	歯周病学用語集 3版	日本歯周病学会 編	医歯薬出版	2019年
推	コーエン審美再建歯周外科カラーアトラス 原著第3版	E. S. コーエン 編、鴨井久一 監訳	西村書店	2009年

成績評価方法・基準・配点割合等

講義（65点以上で合格）：中間試験、後期試験、口頭試問の総合評価
DESS演習結果は講義成績に含む。

実習（65点以上で合格）：実習（知識、態度、技能）評価、実習試験の総合評価
講義と実習が両者とも合格した場合のみ合格とする。

備考

実習評価：すべての実習に良好な態度で出席、すべての提出物を提出、すべての検印を受けることを必須とし、それらを全て守れない場合は、原則として実習評価不可とする。

実習評価対象：知識（実習内容を理解することができる）、技術（実習内容に則した手技ができる）、積極性（実習意欲があり積極的に行動することができる）、礼節（実習にふさわしい礼儀正しい話し方ができ責任ある行動ができる）。

講義・実習の減点：講義、実習ともに欠席、遅刻に応じて減点する。

再試：65点以上を合格とする。

特記事項・その他（試験・レポート等へのフィードバック方法・アクティブラーニングの実施、ICTの活用等）

各講義・実習では伝える力の強化を図るため、内容に関して担当教員とのディスカッションの機会を設ける。講義資料は必要に応じてWebClassにアップロードする。

過去の国試問題をインターネット上の事前学習教材（DESSお試し演習）として設定するので各学生は事前学修教材を事前に予習してから各講義・演習に臨むこと。各実施予定日には講義室でインターネットに必ず接続できるよう予め接続可能なPC、タブレット等を準備しておくこと。講義終了後は、学修済み教材を活用し事後学修を必ず行なうこと。学修が必要な項目については、講義時間内あるいは掲示にてフィードバックを行う。

当該科目に関連する実務教員の有無 … 有（大学病院等における医師や歯科医師の実務経験を有する教員が専門領域に関する実践的な教育を事例を交えて行う）

授業に使用する機械・器具と使用目的

使用機器・器具等の名称・規格	台数	使用区分	使用目的	
口腔内撮影用カメラ一式	EOS/X5他	1	視聴覚用機器	症例提示用資料作成
ノートパソコン・VAIO一式	VPCEH29FJ/W	1	視聴覚用機器	講義資料・スライドの作成
ソニックテクノ 歯科用デジタルカメラ	DC17-PRO	1	基礎実習・研究用機器 臨床実習用機器	講義・実習時の資料作成用
キャビトロンセレクト SPS	667-127	6	基礎実習専用機器	基礎実習におけるデモとして使用
ノートパソコンMacBook Air	MJVE2JA	1	視聴覚用機器	講義・実習の資料作成・提示用
メディカルビデオレコーダー	UR-4MD	1	視聴覚用機器	実際の手術式の供覧
マクロリングライト	MR14EX2	1	視聴覚用機器	実際の症例の供覧

アイスペシャル デジタル口腔撮影装置	C-3	2	視聴覚用機器	講義資料用症例記録
ノートパソコン	CF-LV8SDKJS	1	基礎実習・研究用機器	プレゼンテーション用